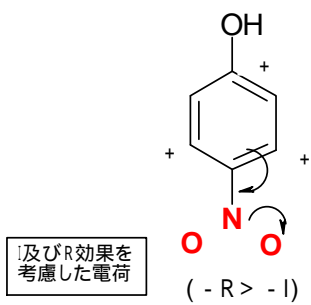
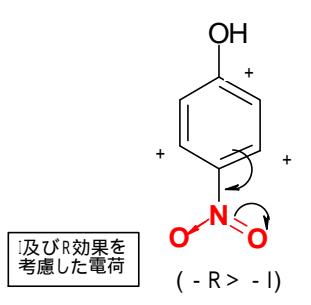


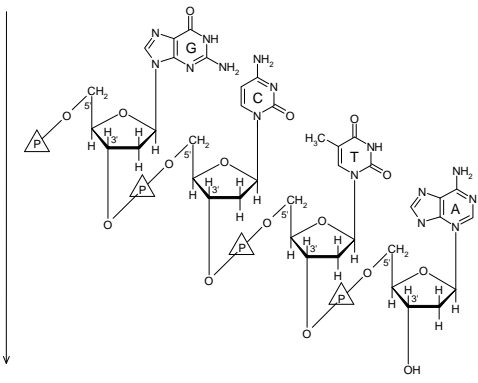
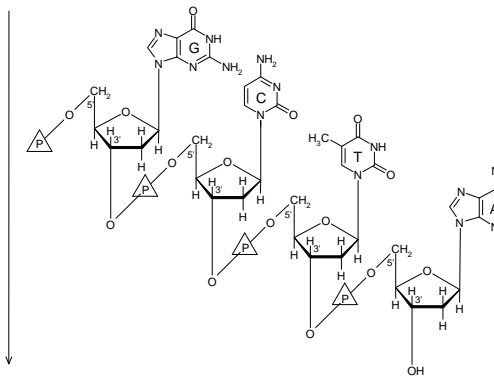
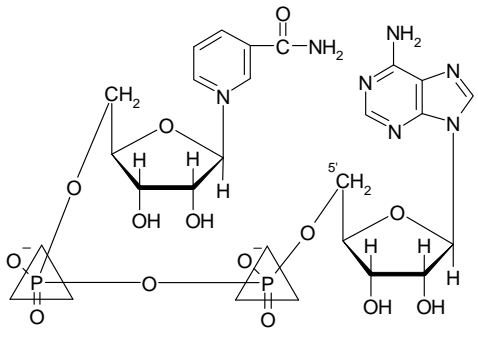
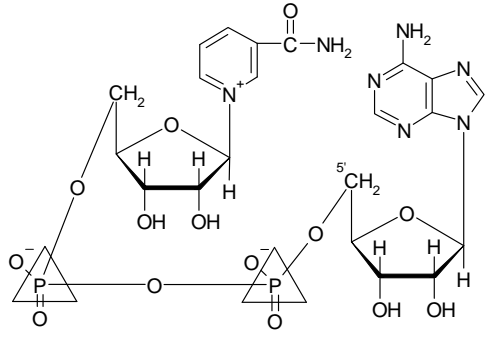
この度は、「4年制国試対応版（第5次薬剤師国家試験出題基準対応）薬ゼミの要点集」をご購入いただき、誠に有難うございます。

本書について、以下のとおり補足及び訂正させていただきます。

ご迷惑をお掛け致しまして申し訳ございませんが、何卒宜しくお願い申し上げます。

薬学ゼミナール編集 4年制国試対応版（第5次薬剤師国家試験出題基準対応）
薬ゼミの要点集 基礎薬学 補足及び訂正一覧表

	訂正前	訂正後
(解答・解説書) P.86 問 52	誤。コルヒチンはM期を阻害する。	正。
(解答・解説書) P.86 問 53	正。	誤。コルヒチンはM期を阻害する。
(解答・解説書) P.86 問 59	正。	誤。リーディング鎖は連続複製により合成される。
(解答・解説書) P.88 問 96	正。	誤。
P.16 表 例 : methyl ephedrine	光学活性体数 : $2^3 = 4$ 個	光学活性体数 : $2^2 = 4$ 個
P.26 図 (例)フェノール に対する影響	不飽和結合 	不飽和結合 
P.27 図 共鳴	$H_2C=CH-CH_2-CH=CH_2$ 2,4-pentadiene の 3 位の水素	$H_2C=CH-CH_2-CH=CH_2$ 1,4-pentadiene の 3 位の水素
P.51 表 求核試薬の強 さ 上から 7 行目	・反応中心が同周期の場合	・反応中心が同族の場合

<p>P.86 固 - 液平衡グラフ 上から 7 行目</p>	<p>質量比...液相 (Q) : 気相 (R) = 3 : 2</p>	<p>質量比...液相 (Q) : 固相 (R) = 3 : 2</p>
<p>P.117 2.2.4 放射線の影響 * 確率的影響 右下</p>	<p>* しきい値 : 障害の発生する最大の線量</p>	<p>* しきい値 : 障害の発生する最小の線量</p>
<p>P.136 表 上から 1 行目</p>	<p>フーリエ変換形赤外分光光度計 (光束型) : 文字化け</p>	<p>フーリエ変換形赤外分光光度計 (単光束型)</p>
<p>P.254 表</p>	<p>PAF (1-アルキル-2-アセチルグリセロール-3-リン酸)</p>	<p>PAF (1-アルキル-2-アセチルグリセロール-3-ホスホコリン)</p>
<p>P.296 下から 3 行目</p>	<p>アミノ酸やジペプチド、トリペプチドは粘膜上皮細胞に存在する複数のアミノ酸輸送タンパク質に Na⁺ と共に結合して上皮細胞に取り込まれる。</p>	<p>アミノ酸は Na⁺ による共輸送で細胞内に取り込まれるのに対し、ジペプチドおよびトリペプチドは H⁺ との共輸送による機構で細胞内に取り込まれる。</p>
<p>P.328 図</p>		
<p>P.329 図 補酵素</p>		

P.459 上から 7 行目	必要とする均一法と、B/F 分離を必要としない不均一法	必要とする不均一法と、B/F 分離を必要としない均一法
-------------------	-----------------------------	-----------------------------